



2023年度 目標発表

(医療部)



NO	発表部署名	ページ
1	病院長	1
2	呼吸器内科	3
3	消化器内科	5
4	肝臓内科/肝臓疾患センター	7
5	循環器内科	9
6	脳神経内科/脳卒中センター	11
7	血液内科	13
8	糖尿病センター	15
9	糖尿病・内分泌内科	17
10	腎臓内科/腎センター	19
11	緩和医療科/緩和ケアセンター	21
12	小児科	23
13	外科・消化器外科	25
14	血管外科	27
15	呼吸器外科	29
16	乳腺外科	31

NO	発表部署名	ページ
17	整形外科	33
18	形成外科	35
19	脳神経外科	37
20	産婦人科/周産期母子医療センター	39
21	眼科	41
22	耳鼻咽喉科	42
23	泌尿器科	44
24	皮膚科	46
25	放射線診断科/画像診断センター	48
26	放射線治療科/放射線治療センター	50
27	麻酔科/手術センター	52
28	病理診断科/病理診断センター	54
29	リハビリテーション科	56
30	救急科/救命救急センター	58
31	歯科口腔外科	60

2023年度目標

病院長

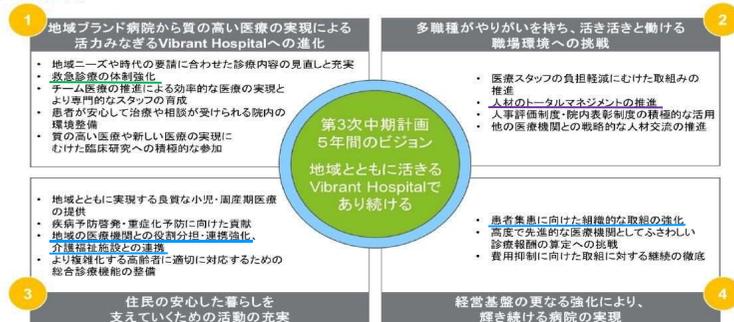


磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

5年ビジョンの実現に向けた4つの重点取組テーマ

ヴァイブラント・ホスピタルを実現していくためには、患者・医療従事者・地域住民等、当院に関わるあらゆる人を惹き付ける魅力を維持しつつ、当院の強みを伸ばし、職員が医療のプロフェッショナルとして生き生きと活躍できる組織を作り上げていくことが大切です。



磐田市立総合病院 第3次中期計画(2021-2025)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

当院は近隣の病院に比べて、コロナ禍ダメージからの回復が遅れている

	2019年	2021年	2022年	前年比
磐田	1,222	1,156	1,132	-2.0
A病院	1,209	1,148	1,154	0.5
B病院	1,098	1,062	1,096	3.2
C病院	1,051	5	966	-0.9
D病院	1,559	1,665	1,649	-1.0
E病院	1,162	1,020	1,050	2.9
F病院	1,871	1,880	1,877	-0.2

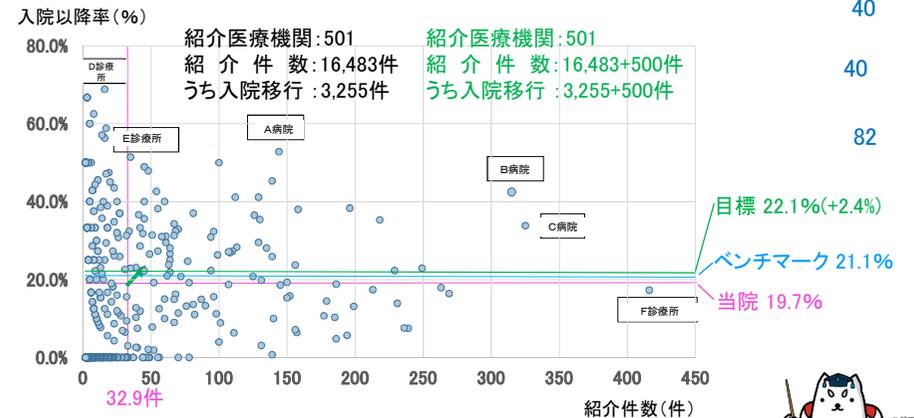
	2019年	2021年	2022年	前年比
磐田	440.3	379.4	359.0	-5.4
A病院	415.2	376.8	387.1	2.7
B病院	445.3	417.2	421.0	0.9
C病院	506.6	461.4	454.5	-1.5
D病院	682.7	689.5	657.0	-4.7
E病院	450.4	398.6	418.8	5.1
F病院	616.4	568.2	542.4	-4.5



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

【患者集患に向けた組織的取り組みの強化】



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

[救急診療の体制強化]

救急車搬入件数(人) 4月～3月累計				
	2019年	2021年	2022年	前年比
磐田	4,824	4,643	5,192	11.8
A病院	5,718	5,630	6,069	7.8
B病院	5,142	4,904	5,772	17.7
C病院	6,509	6,156	6,583	6.9
D病院	7,055	6,776	7,166	5.8
E病院	6,093	5,875	6,989	19.0
F病院	5,553	5,586	6,254	12.4

入院率(%) 4月～3月累計				
	2019年	2021年	2022年	前年比
磐田	39.0	44.0	43.8	-0.2
A病院	41.4	46.2	43.7	-2.4
B病院	45.6	46.2	48.6	2.4
C病院	53.0	55.0	52.2	-2.7
D病院		25.8	46.0	20.2
E病院	46.4	45.4	46.1	0.7
F病院	49.7	49.5	50.5	0.9

救急患者入院率 48%以上
 ・入院受入れ基準の見直し
 ・短期入院パスの活用



2023年度の新しいチャレンジ

[人材のトータルマネジメントの推進]

悩み

人材情報が部署ごとに管理されている
あるスキルを持ったスタッフが何人いるかわからない

目標

人材情報の一元化と見える化
病院内組織の状況把握

活用

現場に眠るスキルを発掘
スタッフの個性を可視化し、育成に活かし成長につなげる
モチベーションを維持し、職場への定着を促進する



決意表明

プラス要因

がん診療の充実

→ がんゲノム医療への参画と
そのための地域連携の構築

後期高齢者の需要増

→ 在宅支援を含めた医療体制
外来患者のPFM
→ 出口問題無縁の円滑連携

マイナス要因

見えないキャリアアップのルート

→ キャリアアップの明確化がモチ
ベーションの維持と定着に繋がる

施設基準に必要な有資格者を
特定の個人に依存

→ スキルの発掘と育成

上がらない外保連指数と救急入院率

→ 高単価症例の集患強化
円滑な救急患者の受入れ

内部
環境

外部
環境



2023年度目標

呼吸器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・高齢者、ADLの低下した症例が多く、全般的に入院期間が長い傾向にある。
- ・膿胸が難治化してなかなか改善が見込めず、入院が長期化する症例も見られた。
- ・COVID-19患者が減少してきたことに伴い、中東遠地区の肺癌患者の紹介が多くなることが予想されるため、精査加療を効率よく行う必要がある。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標①

●入院期間の短縮を図る。

2022年度の全国平均入院期間が14.8日であったのに対し当科は17.3日であり、誤嚥性肺炎が入院期間延長の一因となっていた。

全身状態、ADLの低下した症例では自宅への退院が困難なことが予測されるため、入院時より退院後の療養に関して相談し、早期にPFMの介入を依頼する。

今年度は上記を積極的にすすめることで段階的に短縮し、16日を目標とする。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標②

●気管支鏡検査、化学療法のパスを短縮して入院期間を短くし、病棟の回転を速くする。

気管支鏡検査は3日間から2日間とし、化学療法に関するパスを14日間から8日間に短縮する。早期に外来加療に移行し、外来で可能な処置、治療はなるべく外来で行う。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標③

●クライオバイオプシーの積極的な導入

びまん性肺疾患の診断に対して2023年初めよりクライオバイオプシーを施行してきた。手技的にも徐々に慣れてきたため、積極的にクライオバイオプシーを施行し、診断効率をあげていく。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ①

●膿胸に対する加療として積極的に胸腔鏡での搔爬術を導入する。

今までは胸腔ドレナージ後ウロキナーゼによる洗浄を行っていたが、ウロキナーゼが入手困難な状況である。

全身麻酔が可能な症例に関しては呼吸器外科に積極的に外科的搔爬術を依頼し、困難な症例に関しては局麻下胸腔鏡で隔壁の除去を行う。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ②

●肺癌精査に対するクライオバイオプシーの導入

現在はびまん性肺疾患の診断目的で行っているが、今後は悪性腫瘍にも適応が広がることが予想される。悪性腫瘍の診断時にも可能な症例はクライオバイオプシーを施行し、遺伝子パネル検査を積極的に行う。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

呼吸器疾患は肺炎のような感染症から膠原病、悪性疾患と多岐にわたっています。中東遠地区の数少ない呼吸器内科として出来るだけ多くの患者様によりよい医療を提供できるように邁進致します。

また、中東遠唯一のゲノム連携施設として肺癌の診断時に遺伝子パネル検査を積極的に行っていきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

消化器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題②

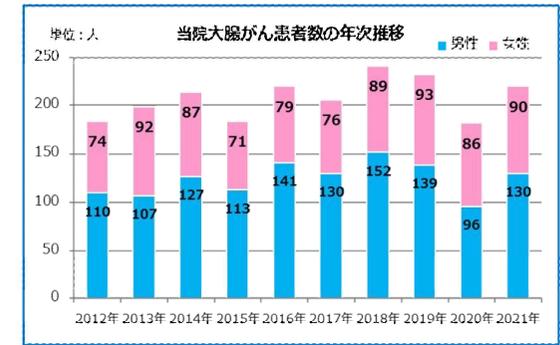
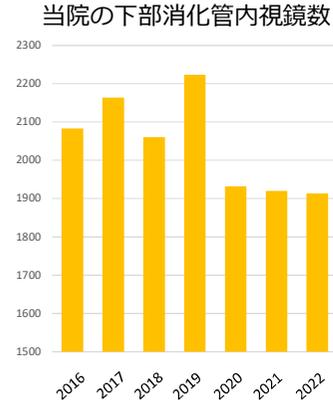
✓地域の要請に高いレベルで対応することを目標としているが、仕事量が多く、医師および支える医療職の疲弊、マンパワー不足が見うけられる。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題①

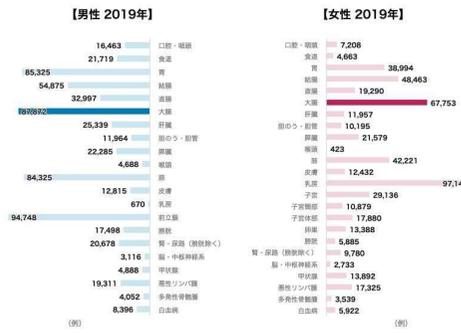
✓下部消化管内視鏡の施行数が減少し、大腸がんの診断数も減っている。



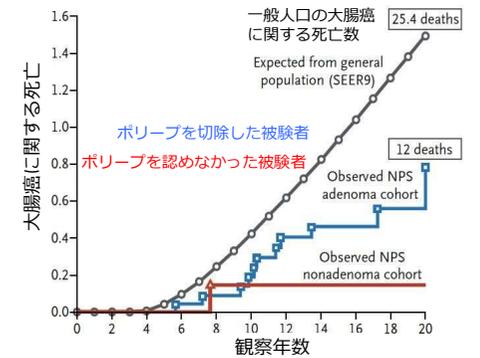
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標①

□下部消化管内視鏡検査を増加することで、大腸がんの地域内死亡数を減少させる。



国立がん研究センター がん統計



A G Zauber et al. N Engl J Med 2012; 366: 688-696

評価法：下部消化管内視鏡件数と大腸がん診断数。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標②

インセンティブの導入や積極的な雇用を行いたいが、私には力がなく、できることとして…

- スタッフがより効率的、創造的に働ける、健康的で快適な環境づくり。
- 相互に支え合う信頼関係づくり。
- 心理的安全性の向上。

ビジョンを作成、共有し、未来に残す。

評価法：ビジョンの作成、心理的安全性の測定。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ②

- ◆消化器内科のビジョンを作成し、共有する。

磐田市立総合病院消化器内科のビジョン

理念：「医療の原点は思いやり」。この思いやりは、患者、地域社会に限らず、共に働く仲間や自身に対しても発揮される。

自身と異なる能力、考え、立場に敬意を払い、協力し、新たな価値を生み出す。

誠実、寛容、規律、合理性、創造性を発揮し、課題を解決する。

関わる人々が安心して生活するために、自らの能力を磨き、その能力を寛容と伴に発揮する。

患者や社会の不利益になることは全力を尽くして避ける。

パーパス：消化器診療を通じ、人々や社会の課題に取り組み、より良い未来を創り出す。

ミッション：2030年までに、県内で最も共に働きたいと思われる消化器診療集団となる。

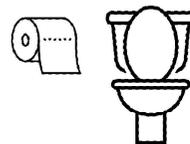
- ・量・質ともに十分な消化器医療を提供し、地域医療に貢献する。
- ・スタッフの快適で健康的な生活、キャリア形成に責任を持つ。
- ・若手教育、研究、先進医療で未来に貢献する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ①

- ◆自宅での腸管洗浄（下部消化管内視鏡検査の前処置）を推進し、狭い前処置室、少ないトイレによる不都合を解消する。



- ◆前処置の進行程度や体調を遠隔で確認するシステムを開発し、運用する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- 消化器内科は、あらゆる手段を用い、大腸がんで失われる命を減らします。
- 消化器内科は、地域医療への貢献とともに、院内で働く仲間にとっても、より働きやすい環境を創り、改善しつづけます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

肝臓内科 肝臓疾患センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の課題

県認定コーディネーター15名

看護師	7名	栄養士	1名
臨床支援士	2名	理学療法士	1名
MSW	3名	事務	1名

幅広い職種のコーディネーターが在籍しており、それぞれの専門性を生かした業務が可能です。今後、役割分担を明確にしていく必要があります。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底
- ・肝疾患に対する制度の周知（患者さん及び医療スタッフ）



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底

主治医 HBs抗原、HCV抗体検査オーダー



検査技師 ウイルスマーカー陽性の場合、主治医にメールで連絡



主治医 消化器内科または肝臓内科に紹介



紹介がない場合、肝疾患医療コーディネーターを通じて、主治医に再度連絡



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

肝疾患に対する制度の周知

- ・B型・C型肝炎治療費の助成
- ・定期検査費用の助成
- ・B型肝炎の給付金
- ・薬害肝炎(C型肝炎)の給付金
- ・肝がん・重度肝硬変の方への支援制度



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

患者相談支援活動の促進

肝炎ウイルス検査の「**受検**」、
検査陽性者の早期「**受診**」、
肝炎患者の継続的な「**受療**」を促進し、
「**フォローアップ**」が円滑に行われる
ようにする。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新たなチャレンジ

7月28日は**世界肝炎デー**です。
7月28日を含む1週間は「**肝臓週間**」と
定められています。これに合わせて、
例年、院内でキャンペーンを行ってきました。
・肝炎関連のポスターなどの掲示、チラシなどの配布
・無料検査の案内など

本年度は院外でもキャンペーンを行うことを考えています。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

肝臓病で苦しむ人を一人でも
多く救いたい！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

循環器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

多職種連携強化(業務効率化、タスクシフト)

- ・カテ室業務
臨床工学技士の心カテ(清潔野業務)参加
- ・ペースメーカー管理
遠隔モニタリング業務の継続・拡大
- ・心不全治療
心不全診療における多職種連携の拡大



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・循環器疾患の特徴として、急性心筋梗塞、心不全入院など緊急治療(緊急カテーテル)・緊急入院が多い。
- ・働き方改革など夜間勤務や長時間勤務の問題がつきまとう。
⇒治療の質を保ちつつ、業務効率化を図る必要がある。
- ・高齢化社会の進行により心不全患者が増加傾向にある。
⇒院内・院外にて多職種の連携、地域連携の強化が必要。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

心不全パンデミックへの対策

- ・心不全診療における多職種連携の強化
心不全入院患者に対して多職種による介入(生活指導、心不全パンフレット)の導入を軌道に乗せる。
心不全外来通院患者への継続的な指導介入
- ・地域連携の強化
心不全地域連携連絡会を通して、上記院内での取り組みを近隣開業医や包括支援センターとの連携に拡大する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

医療の質の維持・向上

- ・心血管インターベンション治療学会研修関連施設の認定取得の準備

- ・浜松医大循環器内科・心臓血管外科を中心とした病・病連携による高度医療提供の体制維持



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

カテーテル治療の質向上に向けて・・・

- ・カテーテル治療におけるロータブレーターの導入

- ・臨床工学技士のカテーテル検査・治療参加の拡大(清潔野業務への参加)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医師、看護師、コメディカルスタッフで協力して心不全パンデミックに挑みます。

地域中核病院としての医療を提供しつつ、更なる質の向上を目指します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

脳神経内科 脳卒中センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

一次脳卒中センターについて

2019年10月、当院は一次脳卒中センターに認定されました。これは日本脳卒中学会が、全国どこでも最良の脳卒中診療が受けられるよう整備を進めてきた「脳卒中センター構想」の第一弾となるもので、認定要件として

- ・24時間365日脳卒中患者を受け入れ、速やかにアルテプラゼ静注療法を含む診療を開始できる
- ・脳卒中診療に従事する医師が24H/7D体制で勤務している
- ・脳卒中ユニットを有する
- ・機械的血栓回収療法が出来る

などがあります。今後「血栓回収脳卒中センター」「包括的脳卒中センター」の整備が進んで行くと思われず。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

つまり
一次脳卒中センターと言う部署があるわけではない
学会/協会から病院に付与された名称である
ただその認定要件を読み解くと、
tPAと血栓回収術の普及を主眼としていると思われる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

よって、その目標は
tPAと血栓回収術をできるだけ多く行うこと
＝適応症例を1例も逃さないことです

*治療で全員良くなるわけではない
tPAで30%前後
血栓回収も50%前後
が良くなるに過ぎない
大勢に行わないと良くなる人が増えない



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

スピードが命、時間との戦いです
＝時間切れがある

★タイムインドゥリに間に合えばOKというわけではない

- ・3-4分遅れる毎に予後良好が1%ずつ減っていく
- ・30分の遅れ→予後良好10%↓
- ・1時間の遅れ→予後良好38%↓



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

タイムコースとして

- ①来院からtPA開始まで遅くも1時間
できれば30分以内
 - ②来院から動脈穿刺まで遅くも90分
できれば1時間以内
 - ③穿刺から再開通まで遅くも1時間
できれば30分以内
- を目標としていますが
今のところ①しか達成できてません



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

血液内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・中東遠地域の血液疾患の患者は当院で加療し**地域の中で完結できるようにする。**
- ・中東遠地域の病院、診療所との連携を強化する。お互いの顔が見える関係を目指し、**当地域で治療を完結**できるようにする。
- ・適切な抗がん剤治療の管理を行い**在院日数の短縮**を目指す。**患者様の満足度を上げられ、かつ、当地域の血液疾患患者を多数みる**ことができるようにする。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

中東遠地域医療圏約46万人で唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設であるが、常勤スタッフが3名しかおらず、少人数で多数の血液疾患患者に対応している。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・年間入院患者数:実人数で250人以上(延べ人数で500人)を維持する。
- ・自家末梢血幹細胞移植を引き続き積極的におこない、年間5件以上を維持する。
- ・学会発表年3件以上、論文執筆1本以上を目標とする。
- ・研修医への指導を丁寧に行い、血液内科を希望する先生を1人でも確保する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

★輸血・細胞治療センターの設置

造血幹細胞移植を含めた血液疾患診療の充実のために、多職種連携のもとに実施し、中東遠地域における血液内科の診療機能向上に結びつける。実際に移植治療は、CE、検査技師が採取に関わり、病棟では看護師がケアを行い、リハビリ、薬剤師、歯科衛生士と様々な職種で支えられています



2023年度の新しいチャレンジ

★AYAサポート外来の設置

血液内科ではAYA世代と呼ばれる15-39歳の患者をみることも少なくない。当院でもAYAサポートチームが立ち上がっているが、その具体的な活動の一つとしてAYAサポート外来を立ち上げる。

(まずは造血器腫瘍の患者さんに限って始める)

若年の血液がん患者さんの晩期合併症のフォロー、悩み相談を医師だけでなく多職種でサポートする。



決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設として、当地域の中心的役割を担います。

当院血液内科の試みを発信していきます。



2023年度目標

糖尿病センター

厚生労働省の令和1年(2019)「国民健康・栄養調査」
本邦で「糖尿病が強く疑われる人」の割合
男性19.7%、女性10.8%

糖尿病は、その罹患率の高さ、背景疾患として種々の合併症を引き起こす特徴から、当院で加療中の多くの患者さんも本症を合併。

2022年度の当院に入院された、すべての患者さんのうち、
【糖尿病】の病名のある患者さんは **1084名(実人数)**

磐田市立総合病院 糖尿病センター

2022年10月1日 発足

当院内のみでなく、地域と連携し
糖尿病診療の発展に寄与するセンター組織として
新しく設立（前身は糖尿病連絡会）



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の課題

当センターの、設立の意義、活動の内容につき、
地域の皆さんや活動を共に推進する院内外の皆
さんの、認知・理解を深める努力

糖尿病の予防から治療まで
多岐にわたる診療科や職種、部門の連携を可能
にする風通しの良い運営

静岡県中東遠地区、唯一の糖尿病教育入院稼働
施設としての責任ある具体的な取り組み



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の目標 1

フットケア外来 ～糖尿病足病変の予防、早期発
見外来～のさらなる充実、認知・理解

フットケア担当看護師の育成
診療担当日の増設
院内受診窓口の拡大

腎症重症化予防外来（院内初の二科合同外来）
設立 外来開始準備完了

2023年度夏から開始される、磐田市厚生労働省糖尿病性腎
症重症化予防プログラムに参加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の目標 2

スタッフのスキルアップ・育成・資格取得の支援

スタッフの 資格（糖尿病療養指導士他）取得の支援
フットケア担当看護師の育成（目標 1に記載）
合同での薬剤、糖尿病機器の説明会開催



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度 新しいチャレンジ

11年目を迎える糖尿病教育の刷新

センターだからこそできる企画
専門領域の医師による特別レクチャーの開催
COVID19感染予防を考慮した教室運営の拡充
教室開催形式 外来指導形式のみなおし

地域と連携した糖尿病患者さん実態調査
当地域災害時のインスリン供給システムの確立にむけて

2023年度 糖尿病患者用IDカードの発行
1型糖尿病患者数の把握



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

磐田市立総合病院の力の結集による
地域糖尿病医療への貢献！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の課題

糖尿病センターの主軸となる診療科として
院内および地域の糖尿病診療へ広くむける視線

新しい治療ツールや治療薬の情報を
素早くかつ正しく把握し、診療に反映
専門診療科が提供できる最先端の質の高い医療

地域クリニックとの連携システムの再確認
患者さんのためになる、かかりつけの先生との連携

2023年度目標

糖尿病・内分泌内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の目標

COVID19感染対策下で縮小された
糖尿病教育入院・糖尿病教室運営の再拡充

患者さんのためになる、地域連携

地域クリニックの治療・検査対応状況の把握と情報提供
インスリンおよび関連注射管理
自己血糖測定（含フラッシュモニタリングシステム）
甲状腺エコー ホルモン補充等特殊疾患の処方

腎症重症化予防外来でのスムーズな病診連携の実現



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の新しいチャレンジ 1

検査計画	年 検査計画												
	最終 実施日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● 健診													
● 採血													
● 検尿													
● 眼科受診													
● 歯科受診													
● 足チェック													
● 頸動脈エコー													
● ABI・PWV													
● 心電図													
● 胸部レントゲン													
● 腹部/エコー-CT													
● 便潜血													
● SMI													
● 握力													

外来糖尿病患者の
悪性疾患スクリーニングの徹底

健診受診の声掛け ポスター掲示
誕生月の足病変チェックに加えて
誕生月の腹部エコー 検査の徹底

● 1年ごとに行う検査



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の新しいチャレンジ 2

臨床研究活動を通して、
新しい発見を当院から発信！

新規臨床研究開始（2023年4月～）
透析患者さんの副腎機能に関する研究
敗血症時の副腎機能に関する研究



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明



稀少なホルモン疾患から
糖尿病や高血圧などの身近な疾患まで

スペシャリストが提供する
患者さん一人ひとりのための医療



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

腎臓内科・腎センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- 通院している維持透析患者さんの高齢化・合併症重症化による患者数減少
- 夜間透析を行っているため、過重労働となる傾向あり
- 手術方法・透析の穿刺など、古典的な手技が多い



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

中期計画での課題と目標

健全経営の実現	外来透析患者数の維持 透析導入患者数の維持
高度で良質な医療の提供	専門医数の増加 知的活動の強化
人材の育成と確保	専門医取得が可能な環境の整備 女性医師が働きやすい環境の整備 腎臓内科を志望する研修医を増やす



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標(透析医療)

	2022年度(結果)	2023年度(目標)
維持透析患者数		
昼間	75	78
夜間	29	29
総計	104	107
導入患者数	64	65



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標(知的活動)

	2023年度(目標)
論文(英文)	2
論文(邦文)	1
主要学会発表	5

2023年度の新しいチャレンジ

- 内シャント狭窄に対する血管内カテーテル治療への参画
- 透析患者さんに対する、心エコーの定期検査化
- 入院期間短縮に向けての試み(例: 透析導入パスの短縮)



決意表明

より質の高い腎不全医療を追求し
周囲から目標とされる施設となる



時代に遅れない
でも、振り回されない



2023年度目標

緩和医療科 緩和ケアセンター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

コンサルテーションは症状緩和が遅れがち
直接症状緩和を行えば、スタッフのスキルの低下を招く

患者・家族のつらさを緩和するためには院内・外の連携が必要



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

数には弱い

直接収入をあげる方法に限られる(R4年度実績)

緩和ケア診療加算 2530件@390点/日(R3年度2842)

外来緩和ケア管理料311件@290点/月(R3年度 263)

慢性的マンパワー不足

チーム活動、外来、(入院)

★質には(比較的)強い, 物語りには強い



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

診療加算

緩和ケア診療加算 2500件(R4年度2530)

外来緩和ケア管理料 320件(R4年度 311)

PCT介入患者数 250名(R4年度 273)

緩和医療科外来新患数 125名(R4年度 119)

緩和医療科入院数 30名(R4年度 24)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

他部署との連携 (院内・外あらゆる経路で)

院内他科, 他部署、他チーム, 委員会, WG

相談支援、AYA、子どもサポート

意思決定支援、臨床倫理、LGBTQ、

他院外在宅医、訪問看護ステーション、他

他院の緩和ケアチーム



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

自部署の実績を上げても限界がある

→ならば他部署の実績が上がるように努めよう

職員の意識改革を進めよう(年単位で)

当院の価値を上げるように努力

→徹底的に他科・他部署のために働こう



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

ケアの質の向上

患者・家族のつらさを早期に緩和

病院の価値を上げる

全医療者のスキルアップ

→いずれ、患者数の増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

小児科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・9人のスタッフで、小児科外来、小児科病棟、周産期診療、NICU当直をカバーしている
- ・働き方改革に対応する宿日直許可を得ることができた
- ・急速に増えている発達障害の診療に対応できていない



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・若手小児科医の育成
- ・周産期医療ニーズへの対応



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

昨年度から要支援小児患者対策チームが発足した。今後行政とのスムーズな連携をとることができるように活動を継続する。

救急外来での研修医の小児科救急診療のバックアップを始めた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地域の第3次小児救急医療、地域周産期母子医療センターを擁する総合病院小児科としての役割を果たす。

若手小児科医が研修を希望する、医師の集まる魅力ある診療科、質の高い診療レベルを目指す。



2023年度目標

外科・消化器外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ① 膵切除のロボット支援手術導入
- ② ロボット支援肝切除、膵切除の保険適応条件の取得
- ③ 胃切除の症例数の条件が緩和された場合、早期に導入する準備
- ④ がん遺伝子パネル検査の活用



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

当科の課題

- ① 新規ロボット支援手術の導入
- ② ロボット支援手術の保険適応
- ③ がんゲノム医療(遺伝子パネル検査)
- ④ 働き方改革・スタッフの高齢化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ⑤ 急性期充実体制加算の要件(全身麻酔手術:2000件、うち緊急手術350件)維持
- ⑥ 外科医のQOL改善
 - ・積極的な年休取得(家族、趣味のため)
 - ・救急当直明け、夜間の時間外労働翌日の年休取得の推奨



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- ① 新規ロボット支援手術の導入(膵切除)
- ② ロボット支援肝切除・膵切除の保険
適応条件の取得



決意表明

- ・ロボット支援手術の充実
- ・若い医師や医学生に選ばれる外科医の働き方を旨す



2023年度目標

血管外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- 手術件数を増やす！！
 - まずは目標は150件/年！！
- 件数が増えれば増員していただける！？

過去の手術件数

2019年	2020年	2021年	2022年
121	146	134	135



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- 一人科なので、できることに制限がある



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- 下肢静脈瘤手術やシャント血管拡張術は“日帰り”で行う
- 新規デバイスには、いち早く導入を試みる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- 手術件数を増やす！！
- 目標は150件/年！！



2023年度目標

呼吸器外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ① 中東遠医療圏内で**唯一**の呼吸器外科
⇒ 少ない科員で胸部疾患・胸部外傷に対応
- ② 呼吸器外科専門医の**減員**(3⇒2)
- ③ ロボット支援下胸腔鏡下肺がん手術を
導入したものの**術者資格**保持者は**1名**のみ



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

寧ろスタッフの若返りにより**即応性up**

- ・ 職種間カンファレンスの充実
- ・ チーム医療の充実により負担を分配
- ・ 地域医療連携の促進

→ **対応力**を維持改善しながら
疲弊しない体制づくりと強化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

ロボット支援下手術の**術者資格**保持者を
2名体制に

→ ロボット支援下胸腔鏡手術の適用拡大



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

縦隔腫瘍手術に対する
ロボット支援下胸腔鏡手術の導入



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

スタッフの得意分野を最大限に活かし、
院内・院外での呼吸器外科の

プレゼンスの**向上**を目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

乳腺外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

乳腺外科 診療統計		
	2021年	2022年
初回薬物治療中の新規乳腺悪性腫瘍数	60	33
乳腺悪性腫瘍に対する根治術数	82	87
乳房温存術数(乳房温存率%)	37(49%)	44(50%)
乳房再建に関する手術数	3	15
良性腫瘍	10	8
乳房膿瘍・乳輪下膿瘍	7	2
そのほかの手術	35	14
手術の総計	134	111
検査		
	2021年	2022年
FNA(穿刺吸引針細胞診)	6	44
CNB(太針生検)	114	220
超音波及びステレオガイド下マンモトーム(吸引式組織生検)	14	18
	2021年度	2022年度
延入院患者数	1,484	1,141
延外来患者数	8,263	7,788



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

国立がん研究センター
「全院内がん登録2009年10年生存率、2013-14年5年生存率集計」
2021.12

【女性乳がん】10年生存率

- ▼全体:87.8%
- ▼ステージゼロ:100.0%
- ▼ステージI:99.0%
- ▼ステージII:90.7%
- ▼ステージIII:68.6%
- ▼ステージIV:19.4%

【女性乳がん】5年生存率

- ▼全体:92.2%
- ▼ステージゼロ:100.0%
- ▼ステージI:99.8%
- ▼ステージII:95.5%
- ▼ステージIII:80.7%
- ▼ステージIV:38.7%



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

1. 指導医の高齢化によるactivity低下の防止
2. 診断と治療の複雑化に伴う業務負担増加対策
(新薬の有害事象対策・ゲノム医療対策など)
3. デジタルヘルスケア技術利用・統計整理の迅速化
4. AYA世代・高齢者などに対する個別対応
5. 検診及び治療に関する連携体制の整備
6. 転移再発乳癌のoncology emergency対応



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

1. 動画を用いた病状説明やデジタル技術を利用した診療の効率化→
外来待ち時間短縮（告知時の病状説明の動画作成など）
2. 乳腺診療に関わるスタッフとのLINEを利用した情報共有と教育
乳癌学会・カンファレンスの連絡、講演会情報などの共有
3. 乳腺専門医育成プログラムに基づく若手医師教育と情報共有
学会発表や論文資料など個人情報に注意してLINEなどで情報共有
目標：学会発表 3演題
4. 術後地域連携パス・骨転移地域連携パスを利用した地域連携推進
5. 入院患者 延べ1300人、乳腺悪性腫瘍に対する手術100例、
初回薬物治療 50例、乳房全切除時同時再建10例



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

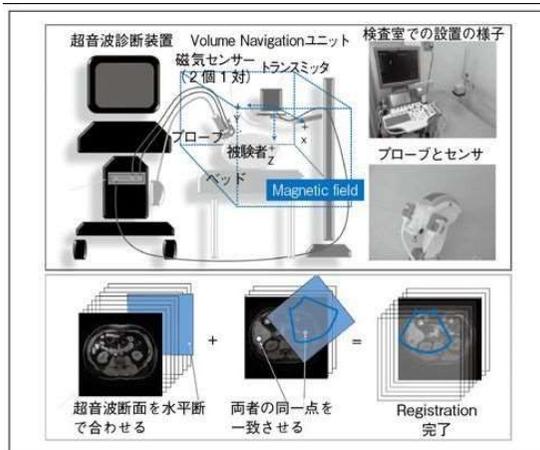
2023年度の新しいチャレンジ

1. 検診 BRCA変異陽性者に対するMRI検診
2. 診断
MRIで指摘された病変に対する積極的MRI超音波融合針生検
3. 治療
ジーラスタボディポット使用による患者さんの通院負担の軽減
整容性を意識した乳房温存（Moving Window法・scaffold法など）
センチネルリンパ節転移1個陽性例に対する腋窩郭清省略
4. そのほか
動画、line、webでの検診・診療に関する情報提供、
転移再発乳癌に関する具体的診療計画作成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

MRI超音波融合画像を用いた針生検



装置の概要

CT・MRI画像を超音波検査装置に取り込み、位置合わせを行う。
患者の右頭側に磁場を発生するトランスミッタを設置し、プローブに装着したセンサーが磁場を感知することにより、プローブの位置と方向を検知する。

図は
小川真広/森山光彦
Volume Navigation (GEヘルスケア社)
を使用したラジオ波熱凝固療法
The liver Cancer Journal Vol.3 No.4,26-31,2011
より引用。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

アナログ診療からの脱却と若返り



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

整形外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

・病院収益への貢献

- ・入院期間(平均在院日数14.8日)
- ・診療単価(DPC II以内退院率68.1%)

・医師の働き方改革への対応

- ・時間外労働時間(月平均57.7時間↑)
- ・年休取得(年平均7.63日↓)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

病院収益への貢献

DPC II以内退院率の向上

R4年度 68.1%

他科の実績: 消化器外科78.1%

呼吸器外科80.0%

目標 **73%**(5% up)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

病院収益への貢献

・点数の高い手術への取り組み

切断肢、脊椎、人工関節、関節鏡下手術 手術件数(5%up)

上記の専門手術を執刀できるスタッフの育成

コスト(インプラント、消耗品の価格)を意識した手術治療への取り組み

・新たに加算のついた治療への取り組み

急性期充実体制加算(緊急全麻手術 350件/年以上)

緊急整備固定加算(大腿骨近位部骨折: 4,000点: 前年比5%up)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

医師の働き方改革への対応

時間外労働時間の短縮

・960時間/年超のスタッフ 0人

有給取得率の向上

- ・スタッフ全員の年**平均10日以上**取得
- ・当直翌日(もしくは翌々日)の有給取得**90%以上**



2023年度の新しいチャレンジ

地域にアピールできる手術手技や診療の導入と実施

- ・**経皮的椎体骨折治療**の適応拡大
- ・**人工関節ナビゲーション手術、3次元術前計画**
(加算あり)の導入・実施
- ・**地域連携パス**の適応症例の拡大

大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折
→腰椎圧迫骨折、脆弱性骨盤骨折etc



決意表明

診療レベルを上げて開業医・地域住民に選ばれる
整形外科を目指すのみならず、病院経営や診療ス
タッフの健康やモチベーションにも配慮した取組み
を目指します。



2023年度目標

形成外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

本来医師7年目で取得する形成外科専門医であるが、医師4年目の若手でも、症例要件を満たせるように経験を積ませる。

その上で、若手に負担が集中しないように分散するように努める。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

部長：医師15年目以上

科長：医師15年目以上（育児中のため遅出早退気味）

医長：医師10年目以上（育児中のため遅出早退気味）

若手：後期研修医

どうしても若手に負担が集中してしまうバランスの悪さ。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

若手医師にも積極的に高難度手術の術者を行ってもらおう。それができるように、上級医はサポートを確実に行う。

時間外が若手に集中しないように、なるべく分散されるようなシステムを作る。

子育て中でも時間外診療や待機ができるような実績を作っていく。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医師の労働時間・労働負担を最少限にする中で、地域のニーズは確実に満たせるようにする。

年次で区別することなく、若手医師が平等であると実感できるような環境整備をする。



2023年度目標

脳神経外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

手術件数の増加

外来・入院件数の増加

人員への負担軽減・業務の効率化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

手術件数

(コロナ禍で減少した手術数は改善傾向であるが、緊急手術が主で意図的な増加が困難)

入院・外来患者数・利益率

(入院患者数は横ばい。限られた人員・患者数の中で効率的に収益を上げるには?)

緊急時の通常診療体制・人員確保

(緊急時に人員を要するため、連続した緊急に対応するには個々に無理をしてもらわないといけない現状)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

当院でできる治療は当院で

(大学へ紹介していた患者の治療を当院で)

頭痛外来・認知症外来

(専門資格を活用した患者集積)

指示・処置・対応の最適化

(対応で要する人員を有効活用し減少させる。効率化を図り対応の時間短縮や人材の育成を)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域医療により対応できる体制作り

緊急疾患への対応

近隣医療機関との連携



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

産婦人科 周産期母子医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標(婦人科)

鏡視下手術 113例(+10%)

- 安全を確保して上での手術時間の短縮

ロボット支援下子宮全摘術 12例



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

地域の要望に応える鏡視下手術への対応

- 手術実施予定決定までの期間が長くなっている

分娩数減少への対応

- COVID蔓延の影響もあり全国単位での分娩数が減少してる
- ハイリスク妊娠への対応はしているが(結果として)正常分娩となる妊婦のニーズに応えきれていない

働き方改革への対応

- 中東遠圏域周産期医療機能連携
- スタッフの確保
- ワークライフバランス

全時間帯での超緊急帝王切開への対応

- 夜間帯・休日の超緊急CSIに時間がかかる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標 (周産期母子医療センター)

分娩数 450 件(維持)

- 無痛分娩実施の確立 10例
- 産褥食事内容の見直し
- 入院中の患者コミュニケーションの促進
- 産科外来時の超音波画像提供

ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・早産等の受け入れ継続

- ハイリスク分娩管理加算 10件/月 のべ500件
- 母体搬送受け入れ 50件

働き方改革への対応

- 中東遠圏域周産期医療機能連携の内容決定
- スタッフ数 維持
- 有給休暇消化率増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

ロボット支援手術の安定施行

NIPT検査(非侵襲性出生前遺伝学的検査)の施行

- 出生前検査認証制度等運営委員会によるNIPT認証医療機関(連携施設)の指定獲得



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきたいと思います。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

眼科

眼科の課題・目標・チャレンジ

- ・緊急疾患の受け入れ強化
- ・外来待機時間の短縮し、数値目標として待ち時間60分を超えない
- ・将来的に硝子体手術設備を整え、幅広い緊急疾患（硝子体出血や網膜剥離等）の受け入れを行っていく



決意表明

磐田市での基幹病院として、地域の開業医と連携を取り、患者様へ最高の医療を提供していくように努めていきたいと思いをします。



2023年度目標

耳鼻咽喉科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

○病診連携の強化

入院や手術が必要な患者、病院での精密検査が必要な患者の受け入れ体制を強化する。

症状が軽減した患者のかかりつけ医への紹介を強化する。

○マンパワー強化

非常勤医師を含めたマンパワーを強化し、診療の内容・質の向上を目指す。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

医師の働き方改革への対応

現在常勤2名+時間短縮勤務1名で業務を行っている。緊急手術などは2名以上での対応が必要になるが、時間外の多くの部分を同じ2名が担当している。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

アレルギー性鼻炎治療の改善

従来からの内服薬・点鼻薬などの保存的治療に加えて、手術治療や免疫療法などの治療の導入を検討し、実現を目指す。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

丁寧な診療・分かりやすい説明を心掛け、
「医療の原点は思いやり」の診療を目指します。

かかりつけ医で対応が困難な病状を積極的に受け入れ、地域医療を支えていきます。



2023年度目標

泌尿器科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

診療報酬適応となるための条件

- ①開始： 半年以内に10例以上
(この期間は診療報酬請求不可)
- ②維持： 1年以内に20例以上



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

2023年2月から

ロボット前立腺癌手術開始。

K843-4腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
(内視鏡手術用支援機器使用)

施設基準を維持する症例数確保が課題



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

ロボット手術対象患者の増加は困難な現実

①診療圏の人口減少

右肩上がりの時代ではない

②高齢化(手術適応外の患者が多い)

③前立腺検診(PSA採血)普及済

④周辺医療施設もロボット手術導入済

ロボット手術はred ocean(過当競争)の状況にあるが、今まで他院に紹介していた対象患者の手術を当院で完遂！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- ①同手術件数を増やすために、
- ・他院応援なしで手術実施可能な体制を目指す(現状では1か月2件が限界)。
 - ・当科職員でプロクターの取得を目指す。
 - ・ただし性急な「独り立ち」は医療安全上の危険を伴う。



2023年度の新しいチャレンジ

- ②前立腺癌患者を多く見つけるため、癌検出率の高い前立腺生検検査機器(BioJet、タカイ医科工業)を導入希望。
- D413-1前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの) 8210点



決意表明

ロボット前立腺癌手術の施設基準維持



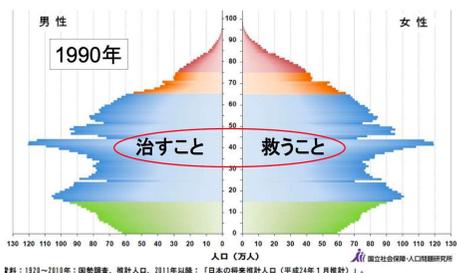
2023年度目標

皮膚科



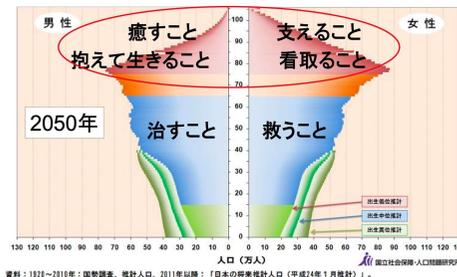
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

目標: 癒し、支える診療体制への転換



患者・家族に対して

- がん
- がん患者のリンパ浮腫
- 薬疹の予防・治療
- 多数の薬剤投与による頻度の増加
- 新規がん治療薬の皮膚合併症予防・治療
- 緻密なスキンケア指導
- 適切な下肢創傷処置と指導

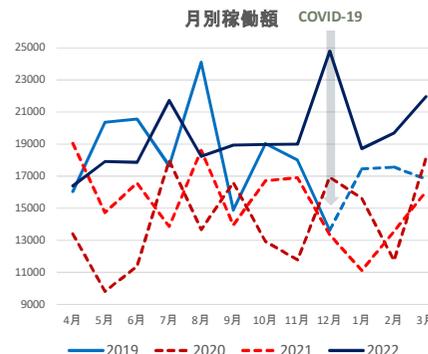


医療者に対して

- 安全な医療の提供
- 医療者間のコミュニケーション
- Team stepsによる医療安全対策
- 患者教育と家族教育
- 明るく元気な環境の提供



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



皮膚科:これまでの業績

- 医業収入増加
- 財源(研究費)の獲得実績 (AMEDなど)
- 学会活動活発
 - (論文・学会発表の業績院内最多)
- 県内トップレベルの診断・治療実績
 - (浜松医大・県立総合病院から紹介など)
- 緊密な地域連携の構築
 - (開業医との勉強会開催)
- 日本の診療を牽引する分野
 - (本邦初の薬疹データベースの本拠地)

皮膚科部門 ロードマップ

- 2018以前は医師2名体制
- 2019 4月より橋爪が部長として着任 医師3名体制(時短常勤1名含む)
- 2019 4-8月から稼働額は増加傾向
- 2019 11月-2021(点線)よりCOVID-19により稼働額は激減
- 2022より2019同等レベルに達し、11月以降は2019を上回る勢い
- 2023から売り上げは2000万円/月以上で維持
- 2018以前は科別稼働額はワースト 現在は科別稼働額は急速増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

ソフト面「やる気と元気」創出を目的とした環境づくり

- 皮膚科外来における看護師・クラーク等の適切な人材要求
- 時間の有効活用によるスタッフ教育(team stepsなど)
- Informal communicationの実践
- 皮膚科外来『憩いの廊下』設置の継続
- リンパ浮腫専任医師の育成



部長作ハーバリウム陳列(現在)

ハード面「癒し・支える」診療体制の創設

- 目標達成にむけての環境整備(ヒトと機器)
- 業績に応じたインセンティブを提案
- 診察室の整理整頓(有効スペースの創出)
- 患者の安心安全を担保する診察室の具現化(新しい診察室)

連携の緊密化「患者中心主義」の徹底

- 他科との緊密な連絡方式の探索
- 病棟との連絡方法の評価・改良



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ・医療スタッフが「やる気・元気」をもてる環境を創生します
- ・「癒し・支える」診療体制をつくっていきます
- ・「患者中心主義」にもとづき、皮膚科診療の環境を変えていきます



2023年度目標

放射線診断科 画像診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

画像診断管理加算2の継続

画像診断を専ら担当する常勤の医師（放射線診断専門医）が翌診療日までにCT/MR/核医学検査の8割以上を読影して主治医に文書で報告した場合180点（加算1は70点）



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

常勤医の減少、高齢化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2022年度の成果

	検査件数	読影件数	読影率
CT	28381	24886	87.7%
MR	7911	7184	90.8%
RI	774	703	90.8%
計	37066	32773	88.4%

画像診断管理加算2の算定要件クリアにより病院経営にも貢献



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

常勤医の減少、高齢化に対し
非常勤医の増加
新たな常勤医の確保



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

画像診断管理加算2の
継続

常勤医の減少、高齢化に対し、
非常勤医の増加、新たな常勤
医の確保を通して



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

放射線治療科 放射線治療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ◇ 新体制開始
- ◇ 放射線治療件数



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ◇ プロトコールの整備
- ◇ 放射線治療人数の増加
 - 実人数 420人(2022年度378人)
 - 定位放射線治療 85人(2022年度 72人)
 - IMRTの割合 50%以上(2022年度 57%)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ◇ IMRTや定位放射線治療の適用拡大
 - ・効果を高め、有害事象を減らす治療を追求する
- ◇ 放射線治療終了後のフォローアップ
 - ・治療効果・再発の有無、晩期有害事象の把握



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- ◇ 放射線治療センター内定期症例検討会
- ◇ デジタル機器利用による作業効率の上昇
 - ・タブレット使用による患者説明(音声付き動画視聴)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ◇放射線治療センターが一丸となり、目標達成を目指します
- ◇患者さんにやさしく、より正確で治療効果の高い治療を行います



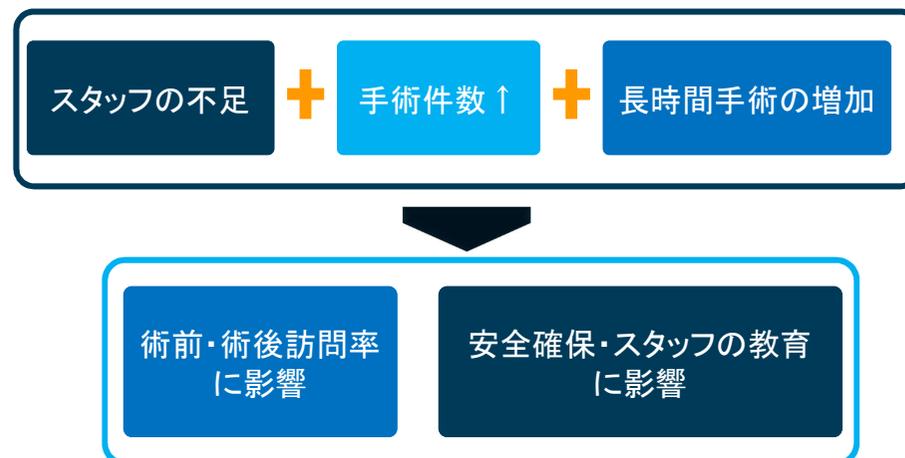
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

麻酔科 手術センター



自部署の課題 ≡ マンパワーの不足



決意表明

安全で苦痛の少ない手術医療の提供

手術件数の増加



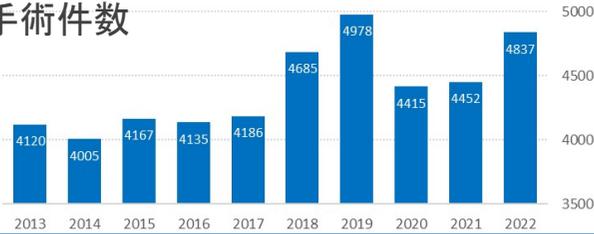
2023年度の目標

昨年度、急性期充実体制加算要件の全身麻酔(2,000件)及び緊急全身麻酔(350件)に麻酔科として貢献 → 維持

	2022年度結果	2023年度目標
手術件数	4,837件	5,000件
全身麻酔件数	2,104件	2,100件
全身麻酔(緊急)件数	364件	365件

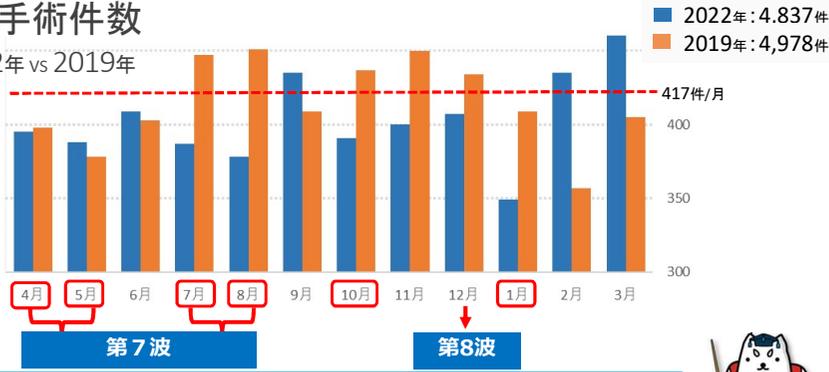


年度別手術件数



月別手術件数

2022年 vs 2019年



入院制限 8/6~8/21 1/16~1/22

2023年度の新しいチャレンジ

外部委託業務の
拡充

当日入院手術の
増加

周産期センターと
帝王切開での連携強化

スタッフ・
麻酔科医の増員

みんなで
ロボット

2023年度の目標

部内勉強会
12回以上

学会/勉強会参
加の推奨

学会発表
3回以上

2024年度以降のチャレンジ

- 5,000件の維持 ➡ 手術枠数の増加

昨年度
76枠 → 78枠

看護師・CE・麻酔科
医を増員させ80枠に

- 5,500件を視野に

3F手術室の有効利用 ← より多くのスタッフの確保
外来手術センター
低侵襲・定型的手術

2023年度目標

病理診断科 病理診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

1. 昨年度は4人の専門医が在籍していたが、今年度からは2人の専門医のみとなった→戦力ダウン
2. 5～20年後を見据えて専攻医の持続的な確保(複数の経路)、管理加算2の維持
3. 病理医の資質・技術向上



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

1. 病理医の診断能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける
2. 総合的な業務遂行能力に関して、病院機能評価により高い評価を受ける
3. 職員(特に専攻医)の確保



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

4. 他科・研修医のサポート体制強化: 症例検討会、論文、学会発表への参画
5. 業務効率化: 残業時間の削減、有給休暇の取得推進、能力に応じた仕事の割り振り(働き方改革)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

1. がん遺伝子パネル検査・エキスパート
パネルへの出席

2. 看護学校・講義の担当者を変更(タスク
シフト)



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

日本病理精度保証機構による認定を受ける



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度目標

リハビリテーション科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・単位数の伸び悩み
- ・嚥下機能検査数の伸び悩み
- ・早期離床リハ加算の基準未達成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・嚥下造影検査数 100件/年
(56件/2022年度)
- ・嚥下内視鏡検査 50件/年
- ・早期離床リハ加算施設基準達成
- ・取得単位数 17.0単位/年/人
- ・リハビリテーション実施計画書取得率
93%



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- ・後遺症患者の外来フォロー
(高次脳機能、嚥下、失語、装具など)
- ・早期離床リハ加算開始 (10月予定)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

当院に関わる患者さんが活力を持って
日々を暮らしていけるように、他の診療科、
地域の医療機関と連携をとって、当科外
来でもフォローします！



2023年度目標

救急科 救命救急センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・救急科は1人体制となるため、自科の増員と他科との円滑な連携が必要
- ・新体制になり、開業医など近隣病院との新たな関係作りが必要



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

①円滑な救急搬送を実現

- ・開業医からの転院搬送の簡素化を実現し、より迅速な搬送を目指す。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

②救急外来における 患者や家族の満足度の向上

- ・患者の待ち時間の軽減
- ・診療に掛かるおよそ時間の提示など



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

③急変対応の充実

- ・ICLSの開催
- ・RRSによる院内急変対応の相談/出動回数
の増加



2023年度の新しいチャレンジ

日中の救急隊直通電話（ホット
ライン）の一本化をし、
円滑な搬送を実現できるように
する。



決意表明

新体制となり、より良い救急医療
を地域住民に提供できるようにして
いく



2023年度目標

歯科口腔外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

1. 外来の歯科用診療台が少ないため周術期口腔機能管理について近隣開業医との連携・分担を強化する必要がある
2. 予定手術が半年以上先まで埋まっている
3. ソノペットIQなど出血の危険性が高く、長時間に及ぶ顎変形症手術を安全に迅速に行うために必須なデバイスが購入できない



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

1. 手術枠の未使用率を減らす
2. 入院一日当たり単価を向上させる
3. インフォームド・コンセントを十分に行い、患者満足度と質の高い治療を提供する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

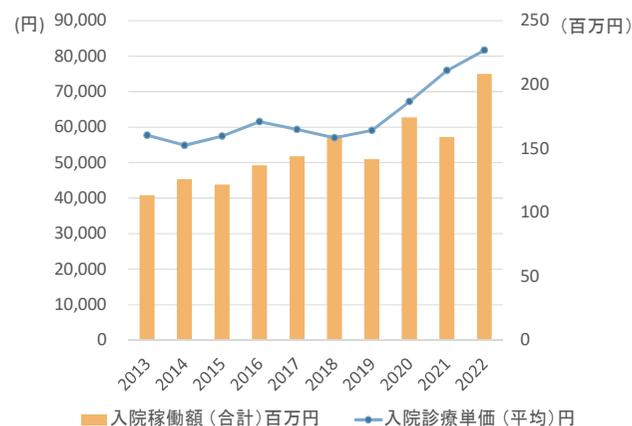
1. 手術枠の未使用率を減らす

2022年度は10/235件の未使用枠があった



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2. 入院一日当たり単価を向上させる



2023年度の新しいチャレンジ

1. 顎変形症シミュレーションソフトが更新されたため、多くの症例に術前シミュレーションを行い良好な手術結果に結びつける
2. 口腔内スキャナーを積極的に活用し、精度の高い医療を供給する



決意表明

1. 顎変形症手術数が県内最多で、国内で年間3000件行われているうちの約80件を当院で行っている。年間100件程度の実施を目指す。
2. 今後、浜松市内の矯正歯科医院からの紹介数がさらに増加する見込みであるため、安全で質の高い医療を提供し続ける。

